

臨床心理学の定義

○米国における臨床心理学の定義（米国心理学会）

「科学、理論、実践を統合して、人間行動の適応調整や人格的成長を促進するとともに、不適応、障害、苦悩の成り立ちを研究し、問題を予測し、そして問題を軽減、解消することを目指す学問である」

つまり・・・

科学性

人間行動がどのように維持発展されるかについての科学的探究

+

実践性

苦悩を生み出す状況を改善し、問題を解決する臨床実践に関わる

科学者－実践者モデル

臨床心理学／心理療法／カウンセリング

◆ 臨床心理学

心理学の一分野として、研究に基づく“実証性”と“専門性”を重視する。介入の効果研究を行い、有効な介入法を採用する。専門性が行政や他の専門職から評価され、大学での地位を確保し、社会的資格を得ている。現在では、認知行動療法を中心とする総合的な心理援助を、他の専門職と協働しつつ、コミュニティにおいて展開している。

◆ 心理療法

精神分析に代表される、特定の心理療法の学派の活動を重視する。その学派の理論を習得し、学派の技法に特化した実践を発展させることを目指す。“学派性”が重視され、大学ではなく、私的な研究所を中心に教育訓練を行う。

◆ カウンセリング

ロジャーズが提唱した“人間性”を重視する活動として、心理学に拘らない幅広い領域に開けた人間の援助の総合学を目指す。ボランティアの人たちも含めるなど、専門性よりも“素人性”が重視される。

臨床心理学を学ぶための基本知識

